

Viento

～おおいたの風～

ビエント

2008
Autumn
vol.22

【特集】
ともに伝える。
地域の力で、文化を受け継ぐ。

2008 大分県広報誌 季刊 Viento 秋号 Vol.22

■企画・編集 大分県広報広聴課 〒870-8501 大分市大手町3-1-1 TEL.097-506-2094 平成20年10月 通巻113号 改題22号
■表紙・撮影／久保貴史 ■特集・取材・文／陳生燕子 写真撮影／久保貴史 ■デザイン編集：有限会社デザインアップ ■印刷：株式会社エポックアート

small view of Oita "satoyama"



お彼岸の内成 彼岸花

おおいたの小景

～里山～

「小景」とは、なんでもない、
でも心に残る風景のことです。
慌ただしい毎日の中で、
ふと目にとまった一瞬を切り取りました。
今号は、どこか懐かしい「里山」の風景です。



豊後大野市 こづみ

写真 竹内康則

Viento (ビエント)は

スペイン語で「風」を意味します。

大分県は美しい自然に恵まれ、歴史や文化も豊かです。先人の足跡や業績の上に新しい大分県をつくっている、元気いっぱいの風も吹いています。自由な発想と熱い思いを持って躍動する人々や地域とともに、大分の魅力をお伝えします。

発行回数：年4回(季刊)

配布先：里の駅・道の駅・銀行・郵便局・病院・

公民館・図書館 など

一般配布用は、県振興局や市町村の広報窓口にあります。

編集後記

小鹿田焼の取材の日は、真夏のカンカン照り。汗だくで歩いて大変だったはずなのに、今思い出すと不思議と、しんとした空気の中で涼しい風が吹いてる光景が浮かびます。小鹿田に流れる独自の空気感のせいなのでしょう。取材に行くといつも感じるのですが、訪れた先々でその土地ならではの色あいがあるように思います。文化というと少し大げさかもしれませんが、長い年月をかけて積み重ねられてきたものをしっかりと受け止めて、その地域にしかないものを伝えていきたいものです。

本誌に対する

ご意見、ご感想をお聞かせください。

送付先

〒870-8501 大分市大手町3-1-1

大分県広報広聴課 Viento係

Tel.097-506-2094

Fax.097-506-1726

大分県庁ホームページ

<http://www.pref.oita.jp/>

再生紙を使用しています